

愛知東邦大学 シラバス

| | | | |
|--------------------|--------|-----------------------------|----|
| 開講年度(Year) | 2022年度 | 開講期(Semester) | 前期 |
| 授業科目名(Course name) | 総合演習Ⅰ | | |
| 担当者(Instructors) | 小島 正憲 | 配当年次(Dividend year) | 2 |
| 単位数(Credits) | 2 | 必修・選択(Required / selection) | 必修 |

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

総合演習Ⅰでは、幼児・小学生を対象にした体育の基礎知識を学ぶことである。特に、年齢の発育に合わせた、運動あそびや授業内容を考案し、指導案の作成や模擬授業をすることで、現場に役立つ指導力を身に付ける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

| | |
|---------------------|---|
| 授業形態(Class form) | 演習 |
| 授業の方法(Class method) | 基本は対面授業を実施する。加えて、授業内容に応じて演習形式の授業も取り入れ、ディスカッション及びグループワークをする。また、学んだことや作成した資料については、積極的に発表する時間を設ける。 |

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

| 回数(Num) | テーマ(Theme) | 内容(Contents) | メディア区分(Media) |
|---------|----------------------|---|--------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション | 受講に関する諸注意、学習の進め方、幼児体育とは？ また、簡易的な自己紹介をする。 | <input type="checkbox"/> |
| 第2回 | 子どもの生活と運動について | 心地よい空間、ガキ大将の役割、運動量の確保について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第3回 | 子どものからだの異変とその対策について | 遅い就寝、生活リズムに乱れ、増える体温異常について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第4回 | 幼児期における運動の必要性について | 午前のおそびに加えて、午後おそびのススメについて学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第5回 | 幼児期における運動の役割と効果について | 身体的発育の促進、運動機能の発達と促進、知的発達の促進について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第6回 | 幼児体育の意義と役割について | 幼児体育のねらい、幼児体育の指導法と指導内容について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第7回 | 小テストとその振り返り | 小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 第8回 | 乳幼児期の発育と運動発達について | 身体各部の発育プロセスと均衡の変化について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第9回 | 幼児期の運動能力と運動スキルについて | 運動スキルと運動時に育つ能力について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第10回 | 発達障がい児の運動指導について | 身体意識を養う、平衡感覚、多動性について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第11回 | 安全と応急手当について | 応急処置の基本と実際について学ぶ。また、学んだ項目について自分なりの考えを発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第12回 | 体育あそびの指導計画と学習指導案の作成① | 学習指導案の機能、学習指導案の例、学習指導案の作成について学ぶ。また、学習指導案の作成をする。 | <input type="checkbox"/> |
| 第13回 | 体育あそびの指導計画と学習指導案の作成② | 前回から引き続き、学習指導案の作成をする。また、作成した学習指導案は、ゼミ内で発表する。 | <input type="checkbox"/> |
| 第14回 | 小テストとその振り返り | 小テストを実施（詳細は授業の際に通知）し、テスト後は回答とその説明を行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 第15回 | 授業のまとめ | 授業全体の振り返りをし、課題の提出（学習指導案）する。また、独自の授業アンケートを実施する。 | <input type="checkbox"/> |

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前指導として、学校体育に関連する文献及び論文を調査すること（毎週2時間）。また、事後指導として、各回の講義で配布した資料、内

容を整理しておくこと（毎週2時間）。具体的には、各回で必要とする資料や課題等の準備を、「テキスト・参考文献・web調査・研究室訪問」を活用し、質の高い内容に仕上げる。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

課題物については即時に教員がチェックし、改善点を指導する。また、その改善点については、ゼミ内全体に情報共有できるよう適宜学生に伝える。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

| 区分(Division) | DP区分(DP division) | 内容(DP contents) |
|--------------|-------------------|--|
| 知識・技能 | ◇ 2019全学共通DP1 | 学びの基礎となる社会、文化、自然等に関連する幅広い知識を習得しながら、幼児体育の専門的な知識を育み、それを活用することができる。 |
| 思考力・判断力・表現力 | ◇ 2019全学共通DP2 | 幼児体育を中心に関連する文献調査やWEB調査をし、情報リテラシーを駆使しながら、自身の考えを持って発信することができる。 |
| 主体性 | ◆ 2019全学共通DP3 | 幼児体育における専門知識と自らの経験をもとに、多角的で客観的な視点を持って問題を的確に判断し、解決することができる。 |

■成績評価(Evaluation method)

| 筆記試験(Written exam) | 実技試験(Practical exam) | レポート試験(Report exam) | 授業内試験 (in-class exam) | その他(Other) |
|--------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| 0% | 0% | 0% | 0% | 100% |

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

成績評価の内訳は【幼児体育の小テスト：60%、学習指導案：40%の計100%】とし、全て授業内に実施する。

■テキスト(Textbooks)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|--------------------|-------------------|
| 1 | 前橋明、幼児体育理論編、大学教育出版 | 978-4-86429-427-0 |
| 2 | 前橋明、幼児体育実技編、大学教育出版 | 978-4-86429-434-8 |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

■参考図書(references books)

| No. (No.) | テキスト名など(Text name) | ISBN(ISBN) |
|-----------|--------------------|------------|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |